

# 幼 兒 教 育

第二十二卷  
第二號

大正十一年二月十五日發行

## 就任の辭

今回、私は、不肖の身を以て、はからずも此處に、日本幼稚園協會長の役目に當る事となりました。菲才淺學、もとより其の器ではないのでありますが、今度、職を東京女子高等師範學校に奉ずるに至りました關係上、これをお受けする事と致したのであります。思ふに、我國に於ける文化の進みゆく勢に伴ふて、教育は其諸方面にわたつて、ますます盛大になり、幼兒の教育に就いても、日に日に多く注意を拂ふべき時となつたのであります。此處に、世界大戰以來、列強は、教育に對する自覺を熾烈にして、國民實力の向上に銳意努力して居るの時に際しましては、更らに、我國に於ける幼兒の教育は、誠に大切と云はざるを得ないのであります。これ、申すま

日本幼稚園協會會長 茨 木 清 次 郎

でもなく、幼兒教育は、まさに其の人の生涯の發達の基礎であつて、又、實に、國民教育の素地を與ふるものと云ふべきに依るのであります。

近時、幼兒の教育は、現に其の歩を進めて、進歩改善の機運、誠に慶すべき事でありますが、凡そ保育の事たる、みだりに其の效を急ぐ時は、かの所謂宋人の苗を掘んじて槁らしたるが如きの誹あり、而も亦、いたづらに個性のなす所に捨て、は、多く放任に流れて、これを育成する所以ではない。幼兒心身の發育にかんがみ、二者其の弊に陥らず、陶冶よろしきを得て、これを適度に行ふは、この種の教育の最も研究を要する所であります。この内容は、即ち、幼兒生活の心理に環境に、諸種の題材となり、

或は兒童保護の聲となつて、世の注意と同情とを、喚起しつゝはありますが、今日、全國幼稚園の數と諸外國に於ける幼兒教育の情況とを考へて見ますれば、今後我國幼稚園の進歩發達は、其の普及に於ても、はた實質の向上についても、たゞに教育爲政者の力に頼るべきもの、すこぶる多きのみならず、いやしくも、我國幼兒教育の實際にたづさはるものは、前途ますます奮勵努力の一語あるを感ずるのみであつて、日本幼稚園協會の使命、又輕しとはせぬのであります、私は今この重大なる責務に對して、未だ何等の經驗もなく、たゞ自ら足らざるを恐るゝのであります、然しながら、幸に、本會關係各位の御同情により、驚鈍をつくして、御委託にそむかぬやう、努めたいと思ふのであります。何とぞ、各位が一致共同の力を以て、御援助あらん事を深く乞ひ願ふ次第であります。御挨拶までに一言申し述べます。

○宣傳に就て一寸申上ます。

全國一齊の大宣傳を三月頃に舉行する事になつて居りましたが協會の方でも種々協議をなし又調査など致しましたが三月頃にはとても間にあひませんから五月頃に致したいと存じます 就いては方法や調査の結果を三月號の雜誌に掲載いたします故そのおつもりで御準備下さいませ

○倉橋主幹の歸朝

ながらく外遊中の本會主幹倉橋惣三氏はいよく來る三月九日神戸入港の熱田丸にて歸朝されます。東京へお著になる日はまだ確定いたしません。

○二月常會

日本幼稚園協會二月常會は臨時休會と致します。